

# 会派視察研修報告書

平成28年 8月22日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤厚雄

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員1名分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	大竹敦子
日時	平成28年 8月 5日（金）
視察先	江南市
研修内容	1 家具転倒防止対策について 2 雨水抑制施設設備等補助事業について
日程	8/5（金） 江南市役所 10：30～11：30
備考	

# 視察研修報告書

平成28年 8月22日

議員氏名 大竹敦子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

## 記

- 1 期間 平成28年 8月 5日（金）
- 2 視察先 江南市
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

### 家具転倒防止対策について

#### 「背景と経緯」

江南市は平地にあり、巨大地震発生時、想定される状況として最も懸案となるのは大きな揺れによる家具等の転倒による圧死であることから、それを防ぐ対策として、市民が家具の転倒防止を図ることが最重要の防災対策とした。

家具転倒防止対策は、平成25年度から実施され、3年間は1世帯あたり1回まで、5,000円で100件分を予算化していた。しかし、初年度24件、91,800円、2年目19件、62,700円、昨年度13件、43,800円とあまり活用されず、市民の意識向上にもほとんど効果が上がっていないという実上から、庁内会議で、28年度から1万円に増額した。

#### 「事業内容」

対象：市内在住の方で、28年4月1日以降に実施した方。

対象となる対策：家具の転倒防止、落下防止対策、ガラスの飛散防止とそれにかかった工事費。

補助額：材料購入、取り付け費用の2分の1（限度額1万円）

申し込み：所定の用紙に必要事項を記入し、印鑑、領収書原本、通帳

#### 「効果と今後の課題」

今年度は、この4ヶ月で申請件数30件、ある程度の市民への周知が広がってきている。今後さらなる申請に対応するため、家具固定推進員の育成を県との事業に合わせて推進していく。

#### 「市への提言」

碧南市の場合、津波対策、液状化対策など、江南市と比較して、必要な対策が山積しているが、地震発生時、まず、自らの命を守ることが大原則なので、家具の転倒防止等の対策は、市民に浸透させる必要がある。現在、碧南市では、障害者、高齢者世帯のみ、無料で実施しているが、一般市民への補助を実施し、推進していく必要があるのではないか。また、転倒防止金具の設置状況についても把握する必要はないのかと感じる。

